

日本顕微鏡学会「環境制御型電子顕微鏡」研究部会
第2回研究会

実環境下での化学・生化学・電気化学反応のイメージングへ

電子顕微鏡の試料環境を制御して、試料が機能を発現している状態を観察することは今後の電子顕微鏡の発展のために必須である。特に、触媒、燃料電池など環境・エネルギー分野の材料の研究・開発、および生物試料の観察のためには、試料の周囲に気体および液体を満たして電子顕微鏡観察することが求められている。本研究部会では、試料環境制御技術についての今後の方向と、必要な技術について関連分野の研究者が集まり議論している。その結果としての応用研究の成果も積極的に公表している。

今回は、実環境下での化学・生化学・電気化学反応のイメージングに向けて、現状と展望についての講演と討論を行う。

・日時： 3月2日(金)13:00～18:00

・場所： 千里ライフサイエンスセンター サイエンスホール

(<http://www.senrilc.co.jp/access/access.html>)

● JR 新大阪駅からお越しの方

地下鉄(北大阪急行電鉄)御堂筋線 千里中央行 終点・千里中央下車(北出口すぐ)

● 伊丹空港からお越しの方

大阪モノレール 門真市行 千里中央下車(徒歩約5分)

・参加お申し込み方法： 事前登録をお願いいたします。下記の要領で電子メールにてお申し込みください。会場には収容人数の制限がありますので、受け入れは、お申し込みの先着順とさせていただきます。

申し込み締め切り：2012年2月24日

申し込み先：大阪大学・産業科学研究所 竹田研究室 吉田秀人

電子メール：h-yoshida@sanken.osaka-u.ac.jp

件名：環境制御型電子顕微鏡研究部会参加申し込み

記載事項：①氏名、②所属、③連絡先メールアドレス

・参加費： 無料

プログラム (敬称略)

- 13:00～13:10 はじめに (大阪大学:竹田精治)
- 13:10～13:40 Advantage of aberration corrected ETEM (tentative)
(FEI Company: Joerg Jinschek)
- 13:40～14:10 雰囲気遮断システムの Li 電池材料解析への展開
(株)日立ハイテク:今野充、佐藤高広、森川晃成)
- 14:10～14:40 ガス環境下観察に対応した超高压電子顕微鏡
(日本電子(株):大田繁正、大崎光明)
- 14:40～15:10 電子顕微鏡用サンプル加熱・電気・液中ホルダの最新動向
(Protochips 社/西華産業(株):直江紀英)
- 15:10～15:30 休憩
- 15:30～16:00 反応環境下における担持ナノ粒子触媒の形態と表面構造
(大阪大学:桑内康文、吉田秀人)
- 16:00～16:30 超高压電子顕微鏡用環境セルの開発と水素貯蔵材料への応用
(北海道大学:磯部繁人)
- 16:30～17:00 環境制御型電子顕微鏡の生体応用
(東京農工大:箕田弘喜)
- 17:00～17:30 全体討論
(大阪大学:竹田精治, 産総研関西センター:秋田知樹)

プログラム委員会:

上野武夫(山梨大学)、矢口紀恵(日立ハイテクノロジー)、竹田精治、吉田秀人(大阪大学)

問い合わせ先: 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8番1号

大阪大学・産業科学研究所 竹田研究室 吉田秀人

電子メール h-yoshida@sanken.osaka-u.ac.jp

電話 06-6879-8431